

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年2月29日～2016年3月6日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年3月10日

在ジョージア大使館

1. 外 政

▼スペイン外相のジョージア訪問(28日-29日)

・マルシア・マルガジョ 西外相がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、ウスパシヴィリ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相、イリア2世総主教らと会談。

・「ジャ」外相との会談の後、「マ」西外相は、「ジョージアはスペインにとってますます重要な国になりつつある」として、ジョージアの領土一体性に対するスペインの支持を強調した。また、スペインはジョージアに対するEUの査証自由化を積極的に支持してきたと述べた。

▼エネルギー相のバクー訪問(29日)

・カラゼ・エネルギー相がバクーを訪問。トルコ、アゼルバイジャンのエネルギー相およびモグリーニ EU 外務・安全保障政策上級代表らとともに天然ガス南回廊に関する大臣級評議会に出席。シャフ・デニズ第2期プロジェクトの進捗や TANAP, TAP プロジェクトについて議論された。

・アリエフ・アゼルバイジャン大統領、アラボユン・トルコ・エネルギー相、アブドゥラエフ SOCAR 社長らと会談。

▼外相のスイス訪問(29日)

・ジャネリゼ外相がジュネーブを訪問。国連人権理事会の会合に出席し、被占領地域の人権状況や人権分野において進められている国内改革などについて演説。

・ブルクハルター・スイス外相と会談。「ブ」スイス外相はジョージア・EFTA 間の FTA をめぐる交渉の終了を歓迎し、FTA の実施に向けた技術的支援を約束。

▼外相のベルギー訪問(3月1日-3日)

・ジャネリゼ外相がベルギーを訪問。3月2日、ブリュッセルで行なわれた NATO・ジョージア委員会会合に出席。ジョージアの NATO 加盟プロセスの進展、実質的パッケージの実施、ワルシャワでの NATO 首脳会議に向けた協力の強化、ジョージアの国内改革、被占領地域の状況などについて議論された。

・ベルギーを訪問中、「ジャ」外相はレインデルス・ベルギー外相、ヴァーシュボウ NATO 事務次官、フセイン国連人権高等弁務官らと会談。

2. 内 政

▼アディゲニ地区での宗教対立(29日)

・アディゲニ地区アディゲニ村にて墓地の使用をめぐるキリスト教徒の住民とムスリムの住民が対立。小競り合いが起これ、3人のムスリムが負傷した。

・3月2日には正教会とイスラムの聖職者および地方自治体政府の代表者が村民の会合に出席。既存の墓地を拡大し、分割することで合意。

▼国会が国立銀行の新理事を承認(3月2日)

・カダギゼ国立銀行総裁に代わる国立銀行理事として、2月11日にマルグヴェラシヴィリ大統領が指名したグヴェネタゼ IMF エコノミストについて、国会で採決が行なわれ、過半数の支持により承認された。「グ」新理事は2000年から2001年まで財務次官を務めた。2008年から2009年まで IMF のアゼルバイジャン常駐代表、2010年から2014年までキルギス常駐代表。

・2月に行なわれた国会での公聴会で、「グ」新理事は、金融監督庁について、国立銀行からの分離は望ましくないと述べた。

▼共和党指導部と首相の会談(3月3日)

・与党連合「ジョージアの夢」(GD)を構成する共和党と「産業がジョージアを救う」党の対立が深まっている問題について、クヴィリカシヴィリ首相は3日に両党の「政治的な対立は全く容認できない」との声明を発表。

・「産業」党のトバゼ議員が、2015年10月にサガレジョ地区で行なわれた国会補欠選挙で共和党員のヒダシェリ国防相が不正を行なったと非難。共和党側はトバゼ議員の反欧米的な主張やスターリンの称賛を批判している。

・「ク」首相は声明で、スターリン主義などは、ジョージアの未来に受け入れる余地はないと述べる一方、「産業」党との公然の非難合戦に加わったとして「ヒ」国防相も批判した。

・首相の声明を受け、共和党指導部は3日夜に「ク」首相と会談。ウスパシヴィリ国会議長、サムニゼ共和党党首、「ヒ」国防相らが出席した。

・会談後、「ウ」国会議長は、2016年以降も共和党と与党連合内の最大党であるジョージアの夢・民主ジョージア党(GDDG)は協力を継続すると述べた。

・「ク」首相は、「2016年の国会選挙に向けて共和党とGDDGとの間で何らかの合意をまとめる。GDは多くの党の連合であり、GDがこの体制で選挙に参加するならば、共和党とGDDGとの間の合意はGD内の他の党によっても確認されねばならない」と述べた。

▼ガスプロム反対デモ(3月6日)

・野党・統一国民運動が、天然ガスの輸入に関して政府が露ガスプロムと協議を進めていることに反対するデモをトビリシ市内で開催。数千人の参加者が政府庁舎から露大使館まで5km以上の「人間の鎖」をつくった。

3. 経 済

▼ジョージア・EFTA自由貿易交渉の完了(26日)

・ジョージアと EFTA が自由貿易交渉を完了。2016 年 6 月 27 日にベルンにて自由貿易協定が署名される予定。

▼2016年1月のGDP成長率(29日)

・国家統計局が速報値を発表。2016 年 1 月の実質 GDP 成長率は前年同期比 0.8%。2015 年の実質 GDP 成長率の平均は前年同期比 2.8%。

▼トキブリでの炭鉱労働者のストライキが終息(3月1日)

・ジョージア中北部トキブリで 2 月 15 日から約 1500 名の炭鉱労働者が、40%の賃金値上げと労働環境の改善を求めて大規模なストライキを実施していた。炭鉱を運営する Saknakshiri 社の親会社 Georgian Industrial Group (GIG) が賃金の段階的な 10%増額および労働環境の改善をすることを約束し、ストライキは終息した。

▼2016年1月～2月の入国者数(3月1日)

・内務省の発表した資料によれば、2016 年 1 月～2 月の入国者数は 683,561 人で前年同期比 13.9%増。

・2 月の入国者数は 360,402 人で前年同月比 23.9%増。2 月中の入国元別では多い順にアゼルバイジャン (113,832 人、前年同月比 41.9%増)、トルコ (91,167 人、同 12.2%増)、アルメニア (75,028 人、同 7.5%増)、ロシア (43,149 人、同 29.2%増)、ウクライナ (9,036 人、同 23.5%増)。

EU 諸国からの入国者数は 10,281 人 (同 12.1%増)。

▼2016年2月のインフレ率(3月4日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は 0.1%。アルコール飲料・タバコの価格が 7.5%、通信費が上昇。輸送費が 2.3%低下。

・年間インフレ率は 5.6%。食料品・非アルコール飲料の価格が 4.6%、医療費が 10.5%、アルコール飲料・タバコの価格が 14.3%上昇。

▼アゼルバイジャンからのガス輸入の拡大(3月4日)

・4 日トビリシにて、カラゼ・エネルギー相とアゼルバイジャンの SOCAR 社社長が、500 百万立米のガスの購入に関する新たな契約に署名。「カ」エネルギー相は、当面ジョージアは露ガスプロムからガスを購入する必要がなくなったと発言。また、記者からイランからのガスの購入について質問された「カ」エネルギー相は、「もはやその必要性はない」と述べた。

・5 日、「カ」エネルギー相は、ジョージアと露ガスプロムが、ロシアがジョージアを経由してアルメニアに送る天然ガスの 10%を通過料としてジョージアが受け取る現在の方式の継続で合意したと述べた。露ガスプロムは現金での支払いへの変更を希望していた。